

呪術廻戦の漫画の感想レビューに関するアンケート調査結果

■アンケート調査概要

| | |
|---------|----------------------------|
| 調査目的 | 呪術廻戦の漫画の感想レビューに関するアンケート調査 |
| 調査対象 | 呪術廻戦を読んだことのある10代～50代の男女10名 |
| 調査期間 | 2024年10月18日～2024年10月21日 |
| 調査方法 | インターネット調査 |
| モニター提供元 | クラウドワークス |

■アンケート項目

Q1: 年代と性別を教えてください。

Q2: 呪術廻戦の面白いところやいいところなどの感想を教えてください。

Q1: 年代と性別を教えてください。

| 回答 | 回答数 |
|-------|---------|
| 30代女性 | 1名(10%) |
| 40代女性 | 1名(10%) |
| 20代男性 | 3名(30%) |
| 30代男性 | 2名(20%) |
| 40代男性 | 2名(20%) |
| 50代男性 | 1名(10%) |

Q2: 呪術廻戦の面白いところやいいところなどの感想を教えてください。

めちゃくちゃ面白くてオススメな作品です！

連載当初から注目していた作品だったのですが、とにかくジャンプとは思えないほどダークなお話が多くて厨二心を刺激されます。

最初は宿儺の指を少しづつ集めていく王道展開なのかな？と思いきや、主要キャラが何の前触れもなく死んだりして臨場感や緊張感が半端ないです！

気づいた頃には本作の深い世界観の虜になっていました。

「呪術廻戦」の東堂葵は、戦闘スタイルもキャラクター性も圧倒的に魅力的でした。特に術式「不義遊戯（ブギウギ）」を使った位置の入れ替えは、シンプルながらも予測不能で、戦況を一瞬でひっくり返す爽快感があります。虎杖悠仁との共闘シーンでは、「好きな女のタイプ」を尋ねた後に即座に親友認定する独特なテンションが笑えつつも心に残ります。

戦闘中も頭脳明晰で冷静に状況を見極める東堂の姿は、ただの豪快なキャラではなく、知恵とセンスに溢れた存在として輝いていました。合掌一つで流れが変わる彼の戦い方は、「呪術廻戦」らしい緊張感と興奮を生み出していて、何度見ても飽きません。

アニメの作画とてもよく一つ一つの描写に惹きつけられる。特に戦闘シーンの作画は漫画では感じる事ができない迫力があり何度も見たくなるくらい圧巻である。アニメがよく漫画に移行しても漫画が劣ることはなくとても面白く、早く最終回までアニメ化してほしいととても願っている。キャラクター一人一人に魅力がありどのキャラにもファンがいる。

主人公よりも、周りのキャラクターの方が濃い漫画だと思います。でも、なんだかんだ主人公がカッコイイ、まさに王道中の王道。見ていてちょっと心が苦しくなるようなシーンもありますし、コミカルな部分も多かったり、いろいろと感情を揺さぶられました。そして一番はバトルシーンが爽快感があり、すごくカッコイイのでお気に入りです。

呪術というどこか古臭くおどろおどろしいイメージがありますが、本作では呪術の持つねっとりとした部分も残しつつ、現代的な能力バトルのフォーマットに上手く落とし込んでいるのが一つの魅力です。

戦いは良い意味でゲーム的でルールがあり、それぞれのキャラクターがかなり幅広い個性的な能力を持っているのが面白く、どうやって攻略するのか、だれが一番強いのかと考える楽しさもあります。

ギャグテイストや青春的な要素も適度にあり、ストレートに楽しめるバトル漫画です。

ポスト鬼滅の刃と呼ばれている時から、この作品のことが大好きでずっと読んできたのですがやっぱりバトル漫画は面白いですね。呪術がテーマとして掲げられているのですが、キャラたちが呪霊と戦っている時の躍動感などが描写から伝わってくるので先の展開から目が離せません。個人的にこの作品はHUNTER×HUNTERの空気感をめちゃくちゃ感じます。というのも呪術がなんだが念能力みたいですごく格好いいです。

最初は友達に勧められてなんとなく読み始めたけど、ドハマりしました！ギャグとシリアスのバランスが

絶妙です。オマージュネタが多くてそこがまた面白い。好きな人は好きだと思う。

あとキャラクターがどれも濃いです！敵キャラもしっかり描かれてて癖がありすぎて、どのキャラも嫌いになれません。逆に主人公が番影薄いのでは！？と思うぐらい・笑。

キャラ魅力でいえば五条先生がやっぱりダントツイケメン。目隠しを外した先生のギャップにやられた人は多いのではないかと思います。

最終回を迎えてしまってさみしいですが、最後は良い感じにまとまったと思います。最終巻が出たらまた一巻から読みなおそうかと思います。

私はアニメから入りましたが、そのダークでミステリアスな世界観にすぐに引き込まれました。

キャラクターたちが個性的で、それぞれのバックストーリーがしっかりと描かれている点が特に好きです。

特に、主人公の虎杖悠仁の成長や、彼が仲間たちと共に困難に立ち向かう姿には感動しました。

また、五条悟の圧倒的な強さとカリスマ性も見逃せません。彼の戦闘シーンは毎回圧巻で、何度も見返してしまいます。

敵キャラクターも非常に魅力的で、彼らの動機や背景が丁寧に描かれているため、単なる悪役ではなく、深みのある存在として感じられます。

呪術廻戦は和風ホラーテイストというかおどろおどろしい雰囲気良かったです。基本的には呪霊vs呪術師という戦いが展開していくことになるんですけど、呪詛師等という第三勢力が加わることで戦いも複雑化し楽しめました。呪霊は強敵ばかりで、殆どの呪術師は呪霊相手に大苦戦。そんな中、特級呪霊を相手にしても余裕で圧倒してしまう五条先生の活躍には見惚れてしまいました。呪術師の中だとぶっちぎり過ぎていて、この人がでてきたらもう安心だ！という頼れる感じが良かったです

虎杖が仲間とともに困難を乗り越える姿にめっちゃ感動しました！！戦闘シーンは圧巻で、術式の使い方や戦略に緊張感があって終始ドキドキが止まらない？！五条悟の無双的圧倒的な強さも注目して欲しいな？。彼の登場シーンもカッコいい…。ちなみに1番の推しキャラは三輪霞なんです。彼女が五条大好きなところが気に入ってます！赤崎千夏さんの声がドンピシャ！